

○ 消費・安全対策交付金のうち
病害虫の防除の推進

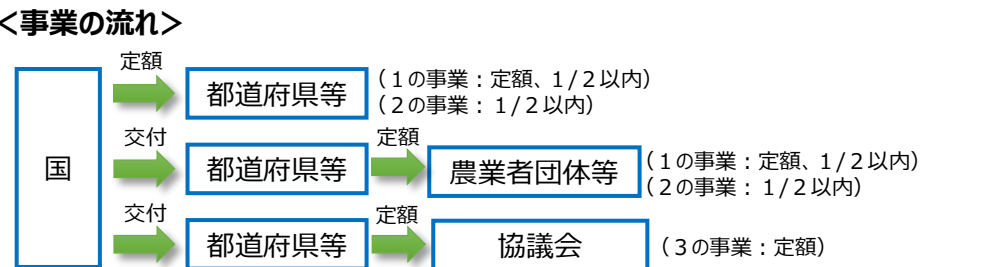
令和8年度予算概算決定額 1,896百万円（前年度 1,896百万円）の内数

＜対策のポイント＞
食料・農業・農村基本計画に基づき、病害虫の防除が年々難しくなる中で持続的かつ効果的な防除を進めるため、総合防除の実践に向けた取組、防除が困難化した作物に係る防除体系の確立及び各地域の実情に応じた広域型総合防除体制のモデル構築を支援します。

＜事業目標＞
農業者の総合防除の実践と浸透を図る総合防除実践指標を470件策定 [令和12年まで]（食料・農業・農村基本計画のKPI）

＜事業の内容＞

1. 総合防除の実践
- 農業者へよりわかりやすく、使いやすい形で総合防除を普及するため、総合防除実践指標の作成、これらに必要な地域の総合防除体系を確立するための実証及び指導者の育成に必要な研修・講習への参加及び開催を支援します。
2. 防除が困難化した作物に係る防除体系の確立
- 気候変動等の影響によるカメムシ類等の病害虫の発生パターンの変化、病害虫の薬剤抵抗性の発達、登録農薬の見直し等による使用可能な農薬の減少等により、従来の防除対策では防除が困難化した作物について、新たな防除技術の実証等を支援します。
3. 広域型総合防除体制の構築
- 病害虫防除所や農業団体に加え、サービス事業体やメーカー等の幅広い関係者と産地が連携し、それぞれの機関の特性を最大限に活かし、地域一体となった効果的・効率的な新たな防除体制の構築を支援します。



＜事業イメージ＞

総合防除の実践

総合防除の実践に関する指標の策定等

例：スクミリンゴガイの総合防除体系

浅水管理 捕殺トラップの設置 取水口への網の設置

指標の策定や指標を用いた農業者による総合防除の自己点検

総合防除の指導者の育成に必要な研修等への参加・開催

総合防除

防除が困難化した作物に係る防除体系の確立

- 気候変動等の影響により発生が増加した病害虫
- 薬剤抵抗性病害虫
- 農薬登録の見直し等に伴う使用可能な農薬の減少

→代替農薬の選定やローテーション散布の有効性の検証等

→新たな防除技術や資材の実証

→現場のニーズに対応した効果の高い代替農薬の選定等

近年発生が増加傾向にあるイネカメムシ

DMI剤耐性リンゴ黒星病

広域型総合防除体制の構築

個々の農業者による防除

- ・荒廃農地等の病害虫の発生源の存在
- ・農業従事者の減少による労力不足
- ・気候変動等による防除判断の難化

ほ場単位で被害を抑えるのではなく、地域単位で防除計画を立案し、地域一体で効果的・効率的な総合防除を実施する体制に転換

地域の防除計画の策定

発生予測情報
・発生予測情報
・気象情報
・地域の病害虫発生状況
・作付計画 等

発生源（雑草地等）の解消

共同防除（水路の泥上げ等）

サービス事業体等を活用した共同防除

大量発生予測時の臨機防除